

それよりも、今、自分がやるべきこと。自分に出来ることを見つめ直して努力することが大切です。

「今さら、もう」なんて言わないで下さい。年齢が幾つになっても勉強することは出来るのですから。それが迷いの中に光を見出す、唯一の方法ではないでしょうか。(完)

「未来の住職塾NEXT受講」

という訳で、住職も5月から新しい学びにチャレンジします。「未来の住職塾NEXT」は「一般社団法人未来の住職塾」が2012年から開講している講座で、今年からWEBでの参加も可能になりました。この機に今一度、實相寺の可能性を見つめ直してみたいと思います。

施餓鬼・花園會總会のZOOM中継

来たる4月16日午前10時から開催する施餓鬼會春期總供養、並びに第42回實相寺花園會總會をZOOMで中継致します。

遠方の方や当日所用で欠席で返信頂いた方も宜しければご参加下さい。ID・パスコードは左記の通りです。
ミーティングID: 811 8855 6786
パスコード: 783147



實相寺 花園會報

令和五年 四月一日発行
發行所 臨濟宗妙心寺派 陽明山 實相寺 實相寺花園會
〒761-0450 高松市三谷町 1811番地1
TEL087-889-3838
編集發行人 山本文匡
<https://www.jissouji.net>

第168号

お寺の掲示板

「いろんな現実の問題に遭遇したとき、ああであろうか、こうであろうかと考えたり、策を弄したりすると、たいがい自分の都合の良いものしか見えていないのでかえって窮してしまう。 ～中略～

自分を否定してみる、自分を抜きにしてものごとを見てみる。そうすると、ものごとはありのままに現れてくる。あとはそのところに従っていくのが賢明な生き方です。」

『ある日の法話より』 いろはにほへと』より

自分を抜きにして

自分を一度消してみれば

森羅万象は

ありありと見える

そのまま自分に

映っています

横田南嶺老大師

「迷いの中に光を見出す(一)」
 とは言え、実際に人生に行き詰まった時はどうすればいいのでしょうか？そんな時は無闇やたらと動き回るよりも、一度その場で立ち止まって、しっかりと足下を見つめることが大切です。
 六祖禪師に「外一切の善悪の境界に於いて心念起こらざるを名づけて坐と為し、内自性を見て動ぜざるを名づけて禪と為す」という言葉があります。要約すれば「坐るとは他と比較しないことであり、禪とは自分の本質を見失わないこと」です。
 では自分とは何ぞや？一月にご紹介した猪子寿之さんは「人は心と体と連続する環境で出来ている」と仰っていました。『心地観経』では四恩を説いています。すなわち人は時間的に連

続する生命(父母の恩)と社会的に支え合う生命(衆生の恩)、さらにそれらを包摂する大自然の生命(国王の恩)によって成り立っているのだと説き、結局人は自分一人で成り立っているものには無いこと、つまり依他起性であること(三宝の恩)を説くのです。
 ここが仏教の特徴で、私たちは特別な神仏の力や自分の力で生きている訳ではなく、言わば「色々なお蔭、みんなの力で生かされている」という認識です。だから恩を説く訳ですが、恩が判れば次に生まれるのが恩に報いようとする心です。それが菩提心であり、「衆生無辺誓願度」という願いです。ですから『四弘誓願』は先ずは自分という存在が、実に多くに支えられているという自覚から生まれるのです。

白隠禪師は八十四年の生涯のうち「大悟二回、小悟は数知れず」と言われますが、最後の大悟は四十二歳の秋でした。夜『法華経』の「譬喩品」を読んでいた時、ふとコオロギの声が聞こえてきて、深遠な『法華経』の慈悲心が判って思わず声を上げて号泣したそうです。この時「菩提心とは四弘誓願であるとハッキリ判った」と年譜は伝えます。

それ以降、白隠は後進の指導や民衆教化のために全国を行脚し、沢山の著書や書画を残されます。中でも七十五歳の著書『八重葎』では「四弘誓願」の重要性が説かれています。これについて白隠研究家の芳澤勝弘先生は「白隠は四弘誓願の順番を変えて説いている」と指摘しています。

すなわち、①先ずは全ての衆生を救いたいと願いを起す。(衆生無辺誓願度)、②その為には様々な勉強が必要。(法門無量誓願学)、③一生懸命勉強していたら煩惱が湧く暇はない。(煩惱無尽誓願断)、④これを続ければ必ず仏道は成就する。(仏道無上誓願成)と。
 先日のWBCで活躍した大谷翔平選手を彷彿としますが、自分が熱中出来るものがあれば、余分なことに心を奪われる暇は無いのです。

私たちが迷うのは、自分の思い通りにならないからです。だったらいっそ、自分の思い通りにしようとするをやめてみませんか。どうせ私たちの人生には限りがあり、いずれはこの世を去ります。その時に「こんな苦じゃなかった」と悔やんでも遅いのです。